



子どもたちが 「幸せ」に生きていくために ～願いや悩みを知って、寄り添って～

新型コロナウイルスの感染拡大のため、学校園所が休みになったり、行事が中止・変更されたりと、子どもたちの生活も大きく変化しました。そんな中でこれまでの生活が続けられることが「幸せ」だと感じた子どもが多かったようです。



宍粟の子どもたちに聞いてみました

家や学校で
こうなれば
幸せと思うことは？

お父さんとお母さんに
仲よくしてほしい

家族みんな
仲よくしたい

お兄ちゃんを
しからんとってほしい

家族で遊びたい

温かくて
居心地のいい
家庭は「幸せ」

元気にすごしたい

いっぱい笑っていたい

家族でご飯の時に
いっぱい話す

これまでの生活が
続いてほしい



家族で楽しく
出かけたい

学校が楽しいから
このままがいい

安心して楽しく
過ごせる
学校は「幸せ」

たくさんの友だちが
いること

友だちと仲よく
遊びたい

いじめがないこと

友だちと話すのが
楽しくて幸せ

勉強が分かる
ようになること

みんなと協力して
勉強すること



宍粟の乳幼児の保護者に聞いてみました

子育てしていて
感じることは？

近所に子どもが
いないので不安

自分の子育て
大丈夫かな？

働いている人が多い中、
子育てだけに専念して
いると焦りを感じる

子育て支援センターで
ママ友ができて
孤独感が減ってきた

焦りや不安も
誰かと
つながることで
和らいでいく

子どもを連れている時、
話しかけてもらって
うれしかった



子育ての相談に
乗ってもらって
いなかったら、
虐待していたかも



近所の人に、子どもを
温かく見てもらい
住んでいる地域が
好きになってきた

未来を担う子どもたちに寄り添っていくために

- 普段から声をかけたり、あいさつをしたりして顔なじみになっておきましょう
- 不安な様子や困っている子ども・保護者を見かけたら、声をかけてみましょう
- 子どもや子育て中の人の話し相手になってみましょう
- 子育ての先輩として、できることをお手伝いしてみましょう など

***あなたにできることは、どんなことでしょうか？**

***特に気になる子どもたちには、深く寄り添って・・・**

困っている子どもたちは誰かに気づいてほしくて、サインを出しています！



この冊子の最後に各種相談窓口案内が掲載されています。
「子どもに関する相談」の欄に連絡することができます。